

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	観光とは	観光の意味と語源
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	観光の歴史	高度成長期以降
学 年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	観光の現状(日本)	市場規模
科 目 名	観光時事学	時間数	34単位時間	4	観光の現状(世界)	海外旅行の推移
開講期間	通期	単位数	-	5	観光関連産業	サービス業ほか
使用テキスト名	観光概論(JTB出版)ほか			6	運輸機関	JR・関連事業
補助教材				7	航空会社	航空運賃体系
				8	クルーズ①	クルーズ市場
科目概要と科目到達目標				9	クルーズ②	現在の新潟の寄港
観光の歴史と現状、未来を観光関連産業を紐づけて学ぶ。				10	バスの歴史①	事業経営
				11	バスの歴史②	2024年問題について
				12	宿泊施設①	販売戦略
				13	宿泊施設②	空き家対策他
				14	旅行業①	総合旅行業
授業の進め方・学習方法・課題				15	旅行業②	BTM(業務出張)
教材を中心とするも、新聞や雑誌の時事テーマを引用して現在の観光関連業界を幅広く学ぶ。				16	旅行業③	ネット旅行業の現在
				17	テーマパーク①	TDL・スタジオパーク・ハリボテほか主要テーマ
				18	テーマパーク②	その他
				19	観光振興①	日本
				20	観光振興②	新潟
評価方法・成績評価基準				21	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				22	ワーク②	個人・グループワーク(上記内容に連動)
①授業への積極的参加20% ③提出物40% ④学習意欲40%				23	ワーク③	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				24	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
【成績評価基準】				25	ワーク②	個人・グループワーク(上記内容に連動)
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	ワーク③	個人・グループワーク(上記内容に連動)
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28	ワーク②	個人・グループワーク(上記内容に連動)
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	ワーク③	個人・グループワーク(上記内容に連動)
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				31	ワーク②	個人・グループワーク(上記内容に連動)
実務経験教員の経歴				32	ワーク③	個人・グループワーク(上記内容に連動)
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 22年間				33	ワーク①	個人・グループワーク(上記内容に連動)
				34	まとめ	発表

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション①	年間計画等について
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	宿泊業(国内)	ホテルのグレードや特徴について
学年	2年	担当教員	島川 崇	3	宿泊業(海外)	ホテルのグレードや特徴について
科目名	観光キャリア論	時間数	17単位時間	4	観光の役割	経済への影響
開講期間	後期	授業形態	オンライン	5	世界の旅行観光トレンド	時事学からみた旅行観光の現在
使用テキスト名				6	旅行代理店	総合旅行業の役割と機能
補助教材	パワーポイントスライド			7	鉄道	輸送とそれ以外の特徴
				8	航空	既存キャリアとLCCの違い
科目概要と科目到達目標				9	バス	2024年問題
・旅行業、ホテル業、観光業、交通産業の最新トレンドと現在の課題について学習する。 ・観光関連作業の社会での役割や責任について理解を深める。 ・観光分野でのキャリアプランを描くための基礎を学習する。				10	船舶	クルーズの現在
				11	その他観光事業者	インパクトのある観光素材
				12	自治体関連	観光産業と自治体との連携
				13	グループワーク	上記題目に即したワーク
				14	グループワーク	上記題目に即したワーク
				15	グループワーク	上記題目に即したワーク
				16	グループワーク	上記題目に即したワーク
授業の進め方・学習方法・課題				17	総括	まとめ
観光産業(旅行業、ホテル業、観光業)全般についての知識を身に着ける。成績評価は、授業への参加意欲と提出物を中心とする。				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①授業への積極的参加80% ②提出物20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				実務経験教員の経歴		
航空会社、シンクタンク、大学等の幅広い実務経験を有しており、現在は当校をはじめ他大学など複数の学校で教務にあたる。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	イントロダクション	AIの基本概念と観光産業の現状
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	イントロダクション	AIが観光業界に与える影響と可能性
学 年	2年	担当教員	矢後	3	AIテクノロジーの基礎	機械学習とディープラーニングの基本
科 目 名	AIビジネス論	時間数	34単位時間	4	AIテクノロジーの基礎	画像認識の応用
開講期間	通期	授業形態	対面	5	観光データの収集と解析	観光関連データの収集方法と分析手法
使用テキスト名	AIの仕組み			6	観光データの収集と解析	ビッグデータとAIを活用した観光データ
補助教材	パワーポイントスライド			7	顧客体験の最適化	AIを用いた顧客行動予測
				8	顧客体験の最適化	顧客満足度向上のためのAI
科目概要と科目到達目標				9	AIの活用	AIアシスタントの導入事例
・旅行業、ホテル業、観光業、交通産業のAIの最新トレンドと現在の課題について学習する。				10	AIの活用	AIのゲストサービスへの応用
				11	予測分析とマーケティング	AIによる需要予測と価格最適化
				12	予測分析とマーケティング	デジタルマーケティングとAIの連携
				13	AIを活用した観光地	観光地の運営管理におけるAIの役割
				14	AIを活用した観光地	持続可能な観光とAI技術の融合
授業の進め方・学習方法・課題				15	AIと持続可能な観光	AIを活用した効率の向上と環境
観光産業(旅行業、ホテル業、観光業)全般についてのAIの役割と知識を身に着ける。成績評価は、授業への期末テストと参加意欲と提出物を中心とする。				16	AIと持続可能な観光	AIを活用した効率の向上と環境
				17	AIと持続可能な観光	AIを活用した効率の向上と環境
				18	観光デスティネーションの未来	イノベーションと観光体験の変化
				19	観光デスティネーションの未来	イノベーションと観光体験の変化
				20	観光デスティネーションの未来	イノベーションと観光体験の変化
評価方法・成績評価基準				21	観光デスティネーションの未来	イノベーションと観光体験の変化
①授業への積極的参加40% ②提出物20% ③テスト 40%				22	AIと観光産業の課題	倫理と規制の観点から見たAIと観光
【成績評価基準】				23	AIと観光産業の課題	倫理と規制の観点から見たAIと観光
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	AIと観光産業の課題	倫理と規制の観点から見たAIと観光
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	AIと観光産業の課題	倫理と規制の観点から見たAIと観光
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
				29	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
				30	AIと観光の成功事例	AIを活用した観光企業の事例紹介
実務経験教員の経歴				31	AIと地域観光	地域コミュニティとの協業モデル
航空会社、シンクタンク、大学等の幅広い実務経験を有しており、現在は当校をはじめ他大学など複数の学校で教務にあたる。				32	AIと地域観光	地域コミュニティとの協業モデル
				33	確認テスト	後期末
				34	総括	まとめと振り返り

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Meeting people	自己紹介をする
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	Meeting people	自己紹介をする
学 年	2年生	担当教員	ニール マクレーン	3	Talking about Interests	趣味について
科 目 名	Speaking II	時間数	34単位時間	4	Talking about Interests	趣味について
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	Talking about Family	家族について
使用テキスト名	Talk a Lot 1			6	Talking about Family	家族について
補助教材				7	Talking about People	民族について
				8	Talking about People	民族について
科目概要と科目到達目標				9	Talking about Work	仕事に就いて
英語であいさつや自己紹介、身の回りのことや出来事を伝えることができる。 また、聞き取ることができる。				10	Talking about Work	仕事に就いて
				11	Talking about Past Experiences	過去の経験について
				12	Talking about Past Experiences	過去の経験について
				13	前期のまとめ①	
				14	前期のまとめ②	
授業の進め方・学習方法・課題				15	試験	
「話す」「書く」「読む」「聞く」の4技能を取り入れて授業を行うが、 特に「話す」と「聞く」のペア、グループワークを集中的に行う。 講師とは一方的にならないようコミュニケーションを図りながら進めていく 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	前期振り返り	
				17	Talking about Sports	スポーツについて
				18	Talking about Sports	スポーツについて
				19	Talking about other Countries	国について
				20	Talking about other Countries	国について
評価方法・成績評価基準				21	Talking about Experiences	経験について
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	Talking about Experiences	経験について
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	Talking about Places	観光地について
				24	Talking about Places	観光地について
				25	Travei English Part	観光英語について
				26	Travei English Part	観光英語について
				27	Talking about Japanese Things	日本文化について
				28	Talking about Japanese Things	日本文化について
				29	後期のまとめ①	
				30	後期のまとめ②	
				31	試験	
実務経験教員の経歴				32	試験振り返り	
				33	English Speech①	自分のことについてのスピーチ発表
				34	English Speech②	自分のことについてのスピーチ発表

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	1	旅券法令(1) 申請概要	旅券の理解
学年	2年	担当教員	澤野 仙吉	2	旅券法令(2) 申請条件	旅券の理解
科目名	出入国法令	時間数	17単位時間	3	旅券法令(3) 失効条件	旅券の理解
開講期間	前期	授業形態	対面授業	4	旅券法令(4) 受領条件	旅券の理解
使用テキスト名	JTB総研 出入国法令			5	旅券法令(5) 代理申請・受領	旅券の理解
補助教材	ユーキャン演習問題集(紙媒体)			6	まとめ・単元確認試験	まとめ、確認テスト
科目概要と科目到達目標				7	感染症・予防接種・査証	出国時の準備
旅券の各種手続き、出国帰国時の手続き、外国人の再入国等出入国に関する法令実務についての学習 総合旅行業務取扱管理者試験の資格取得を目指す				8	感染症・予防接種・査証	出国時の準備
				9	感染症・予防接種・査証	出国時の準備
				10	日本の出国手続きの流れ	CIQの流れの理解
				11	日本の出国手続きの流れ	CIQの流れの理解
				12	日本の出国手続きの流れ	CIQの流れの理解
授業の進め方・学習方法・課題				13	日本の出国手続きの流れ	CIQの流れの理解
テキストと問題集を活用し、授業用穴埋めプリントを作成、使用し進める。 定期的にテストと補講を実施。				14	外国籍の出入国手続きの流れ 概要	外国籍の場合の出入国方法を理解
				15	外国籍の出入国手続きの流れ 在留手続き	外国籍の場合の出入国方法を理解
				16	外国籍の出入国手続きの流れ 再入国許可	外国籍の場合の出入国方法を理解
				17	まとめ・単元確認試験	まとめ、確認テスト
				18		
評価方法・成績評価基準				19		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
実務経験教員の経歴				30		
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、航空券予約・発券、出入国書類作成、旅行傷害保険作成他、旅行に係わる実務経験				31		
				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	運賃計算基礎(用語解説)	海外航空運賃計算方法の習得
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	1	運賃計算基礎(用語解説)	海外航空運賃計算方法の習得
学年	2年	担当教員	若井	1	運賃計算基礎(GI:ルート)	海外航空運賃計算方法の習得
科目名	国際航空運賃	時間数	34単位時間	2	運賃計算基礎(GI:ルート)	海外航空運賃計算方法の習得
開講期間	前期	授業形態	対面授業	2	運賃計算基礎(シーズナリティ・タリフ基礎)	海外航空運賃計算方法の習得
使用テキスト名	JTB総研 国際航空運賃・料金			2	運賃計算基礎(シーズナリティ・タリフ基礎)	海外航空運賃計算方法の習得
補助教材	パワーポイントスライド・ユーキャン演習問題集(紙媒体)・出入国法令(JTB・紙)			3	運賃計算基礎(マイルージ計算)	海外航空運賃計算方法の習得
				3	運賃計算基礎(マイルージ計算)	海外航空運賃計算方法の習得
科目概要と科目到達目標				4	割引運賃基礎(OW)	海外航空運賃計算方法の習得
国際線の運賃計算についての学習。計算に必要な用語や基本的な計算手順の学習と旅程に従って実際に運賃を計算し、理解する。国際航空関連の現在の動きも交えて授業展開を図る。 総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目指す。				4	割引運賃基礎(OW)	海外航空運賃計算方法の習得
				4	割引運賃基礎(RT)	海外航空運賃計算方法の習得
				4	割引運賃基礎(RT)	海外航空運賃計算方法の習得
				4	割引運賃基礎(CT)	海外航空運賃計算方法の習得
				4	割引運賃基礎(CT)	海外航空運賃計算方法の習得
授業の進め方・学習方法・課題				4	割引運賃基礎(OJ)	海外航空運賃計算方法の習得
テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。 定期的に豆テストと補講を実施。				4	割引運賃基礎(OJ)	海外航空運賃計算方法の習得
				5	運賃計算基礎(HIF・HIP・CTM・OJ)①	海外航空運賃計算方法の習得
				5	運賃計算基礎(HIF・HIP・CTM・OJ)②	海外航空運賃計算方法の習得
				6	運賃計算基礎(HIF・HIP・CTM・OJ)③	海外航空運賃計算方法の習得
				6	運賃計算基礎(HIF・HIP・CTM・OJ)④	海外航空運賃計算方法の習得
評価方法・成績評価基準				6	運賃計算基礎(HIF・HIP・CTM・OJ)⑤	海外航空運賃計算方法の習得
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				7	割引運賃(OW・RT)マイルチェック	海外航空運賃計算方法の習得
				7	割引運賃(OW・RT)マイルチェック	海外航空運賃計算方法の習得
				7	割引運賃(OW・RT)マイルチェック	海外航空運賃計算方法の習得
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				8	キャリア運賃応用計算②	海外航空運賃計算方法の習得
				9	キャリア運賃応用計算③	海外航空運賃計算方法の習得
				10	習熟度テスト	
				11	習熟度テスト	
				12	習熟度テスト	
				13	習熟度テスト	
				14	習熟度テスト	
実務経験教員の経歴				15	習熟度テスト	
旅行会社で営業・企画・添乗・カウンター・業務渡航など多岐に渡る業務を経験。その後、異業界での勤務経験や都内の観光系専門学校で教員実務を経て現在に至る。				16	習熟度テスト	
				17	まとめ	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	自己分析 オリエンテーション	テストの苦手分野を知る
学科名	観光デザイン科	必須・選択	選択必須	2	旅行専門用語解説と習得 単語特訓1	旅行専門の単語の確認
学年	2年生	担当教員	坂上 啓貴	3	旅行専門用語解説と習得 単語特訓2	旅行専門の単語の確認
科目名	旅行英語Ⅱ	時間数	17単位時間	4	旅行専門用語解説と習得 単語特訓3	旅行専門の単語の確認
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	旅行専門用語解説と習得 単語特訓4	旅行専門の単語の確認
使用テキスト名				6	旅行専門用語解説と習得 単語特訓5	旅行専門の単語の確認
補助教材	観光英検 過去問題			7	旅行専門用語解説と習得 単語特訓6	旅行専門の単語の確認
				8	旅行専門用語解説と習得 単語特訓7	旅行専門の単語の確認
科目概要と科目到達目標				9	旅行専門用語解説と習得 単語特訓8	旅行専門の単語の確認
観光英検3級取得のため、英語で旅行知識や航空業界に必要な英語を理解できる力を養う。				10	旅行専門用語解説と習得 単語特訓9	旅行専門の単語の確認
				11	旅行専門用語解説と習得 単語特訓10	旅行専門の単語の確認
				12	自習・質問	ウィークポイントの確認
				13	自習・質問	ウィークポイントの確認
				14	過去問題	確認テスト
				15	過去問題	確認テスト
授業の進め方・学習方法・課題				16	過去問題	確認テスト
テキストと問題集に掲載の旅行専用単語を覚え、次年度に繋げる 定期的に豆テストを実施。				17	総まとめ	まとめ
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	アジア(韓国・中国)	海外地理知識の習得
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	アジア(中国・東南アジア)	海外地理知識の習得
学 年	2年	担当教員	若井 省三	3	アジア(東南アジア・中央アジア)	海外地理知識の習得
科 目 名	海外観光資源	時間数	34単位時間	4	ヨーロッパ(フランス・イギリス・ドイツ)	海外地理知識の習得
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	ヨーロッパ(ドイツ・イタリア・東欧)	海外地理知識の習得
使用テキスト名	JTB総研 海外観光資源			6	ヨーロッパ(東欧・北欧)	海外地理知識の習得
補助教材	JTB総研 旅行業務取扱管理者試験問題集・ユーキャン演習問題・パワーポイント			7	北米(アメリカ)	海外地理知識の習得
				8	北米(アメリカ・カナダ)	海外地理知識の習得
科目概要と科目到達目標				9	ハワイ	海外地理知識の習得
海外観光資源の学習。旅行者が訪れる世界の観光地等の理解 総合旅行業務取扱管理者の資格取得を目指す。 難易度の高い分野のため、2人のエキスパート講師を活用した授業展開とする。				10	オセアニア(オーストラリア)	海外地理知識の習得
				11	オセアニア(ニュージーランド・ポリネシア)	海外地理知識の習得
				12	中南米	海外地理知識の習得
				13	中東・アフリカ	海外地理知識の習得
				14	中東・アフリカ	海外地理知識の習得
				15	ミクロネシア・メラネシア	海外地理知識の習得
授業の進め方・学習方法・課題				16	科目総復習確認試験①	まとめテスト①
テキストと問題集を活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。 定期的に豆テストと補講を実施。 傾向と対策を万全に実施し、総合合格者の排出を目指す。				17	科目総復習確認試験②	まとめテスト②
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験及び国家資格及び地理検定70% ②授業への積極的参加20% ③学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
実務経験教員の経歴				33		
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 40年間				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	定義、約款の適用①	国内航空約款との比較①
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	コードシェア便	旅客の摘要規則についての理解を深める
学年	2年	担当教員	若井 省三	3	コードシェア便	旅客の摘要規則についての理解を深める
科目名	国際航空約款	時間数	17単位時間	4	航空券	発行に関するルール、総則について
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	航空券	発行に関するルール、総則について
使用テキスト名	JTB総研 旅行業約款			6	途中降機、運賃及び経路	運賃と経路に関する定めを深める
補助教材	ユーキャン演習問題集(紙媒体)			7	途中降機、運賃及び経路	運賃と経路に関する定めを深める
科目概要と科目到達目標				8	経路等の変更、運送不履行及び接続不能	旅客の都合による経路へっこの場合の措置と変更後の適用運賃・料金
国際航空約款の用語の定義と航空券、手荷物の許容量等を理解し 総合旅行業務取扱管理者試験資格取得を目指す				9	経路等の変更、運送不履行及び接続不能	旅客の都合による経路へっこの場合の措置と変更後の適用運賃・料金
				10	予約	予約の要件、航空券発券期限、座席指定、航空会社が行う予約の取り消し
				11	予約	予約の要件、航空券発券期限、座席指定、航空会社が行う予約の取り消し
				12	搭乗手続き、運送の拒否及び制限	運送の拒否または、制限に関する定め
				13	搭乗手続き、運送の拒否及び制限	運送の拒否または、制限に関する定め
				14	手荷物	手荷物に関する規定
授業の進め方・学習方法・課題				15	手荷物	手荷物に関する規定
テキストと問題集を活用し、授業用穴埋めプリントを作成、使用し進める。 定期的にテストと補講を実施。				16	航空便のスケジュール、延着及び取消	スケジュールと取消
				17	航空便のスケジュール、延着及び取消	スケジュールと取消
				18	前期振り返り	
				19	払戻	航空会社、旅客、紛失の払戻区分の理解
				20	払戻	航空会社、旅客、紛失の払戻区分の理解
評価方法・成績評価基準				21	地上連絡輸送、宿泊、会社が行う手配及び機内食	旅客個人の責任について、航空会社の責任外の事項を理解
				22	地上連絡輸送、宿泊、会社が行う手配及び機内食	旅客個人の責任について、航空会社の責任外の事項を理解
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	出入国手続	
				24	出入国手続	
【成績評価基準】				25	相次運送人、運送人の責任	航空会社の責任
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26	相次運送人、運送人の責任	航空会社の責任
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27	傷害賠償請求期限	手荷物に対するj損害賠償請求期限
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28	傷害賠償請求期限	手荷物に対するj損害賠償請求期限
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29	法令違反条項	法令違反条項の理解
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30	法令違反条項	法令違反条項の理解
				31	改定及び権利放棄	権利放棄とは？
実務経験教員の経歴				32	まとめ	
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 40年間				33	期末テスト	
				34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
学年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
科目名	国家試験対策	時間数	17単位時間	4	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
開講期間	前期	授業形態	対面授業	5	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
使用テキスト名	国家試験対策・演習問題集・ユークャン演習問題			6	国際航空運賃	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
補助教材	海外・国内サブノート			7	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
科目概要と科目到達目標				8	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
過去5年間の総合旅行業務取扱管理者試験の問題に挑戦する。 それぞれの問題を解き、一つ一つの問題に対する回答の説明をすることで、理解を深める。 到達目標は、国家試験に合格するために挑戦した問題の6割正解を目指す。				9	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
授業の進め方・学習方法・課題				10	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
①昨年、2年前、3年前、4年前、5年前との順にさかのぼって問題に取り組む。 ②科目ごとに取り組み、一つの科目が6割に到達後、次の科目へと進める。				11	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				12	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				13	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				14	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				15	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				16	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				17	過去問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				18	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				19	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				20	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
評価方法・成績評価基準				21	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
①定期試験(国家試験代用)20% ②授業への積極的参加50% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				24	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				25	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				26	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				27	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				28	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				29	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				30	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				31	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
実務経験教員の経歴				32	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 22年間				33	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策
				34	演習問題	国内・総合旅行業務取扱管理者試験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	研究のねらい
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	佐渡の基礎を学ぶ①	地理学
学年	2年	担当教員	澤野 仙吉	3	佐渡の基礎を学ぶ②	地理学
科目名	地域研究B	時間数	34単位時間	4	佐渡の基礎を学ぶ③	地理学
開講期間	通期	授業形態	対面授業	5	地域研究	グループワーク
使用テキスト名	なし			6	地域研究	グループワーク
補助教材	各旅行会社実販売旅行パンフレット			7	地域研究	グループワーク
科目概要と科目到達目標				8	地域研究	グループワーク
佐渡における観光研究は、佐渡島が持つ観光資源や観光産業に焦点を当てた研究活動を実施します。 観光資源の分析：佐渡の自然環境、歴史的・文化的遺産、観光施設、地域イベントなどの観光資源を調査・分析し、観光の魅力や特性を学習します。 持続可能な発展に向けた施策を考察します。 地域振興と観光：観光を活用した地域振興策や観光資源の有効活用、観光と地域産業の連携、地域住民と観光客との関係構築など、地域全体の発展に寄与する観光戦略を研究します。				9	地域研究	グループワーク
				10	地域研究	グループワーク
				11	地域研究	グループワーク
				12	地域研究	グループワーク
				13	地域研究	グループワーク
				14	地域研究	グループワーク
授業の進め方・学習方法・課題				15	地域研究	グループワーク
グループワークで分析力を磨き、研究成果を外部の有識者に講評いただく。				16	地域研究	グループワーク
				17	地域研究	グループワーク
				18	地域研究	グループワーク
				19	地域研究	グループワーク
				20	地域研究	グループワーク
評価方法・成績評価基準				21	地域研究	グループワーク
①定期試験0% ②授業への積極的参加50% ③提出物40% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	地域研究	グループワーク
				23	地域研究	グループワーク
				24	地域研究	グループワーク
				25	地域研究	グループワーク
				26	地域研究	グループワーク
				27	地域研究	グループワーク
				28	地域研究	グループワーク
				29	地域研究	グループワーク
				30	地域研究	グループワーク
				31	まとめ①	
実務経験教員の経歴				32	まとめ②	
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 22年間				33	まとめ③	
				34	振り返り	総括

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	観光と地域研究の概要	オリエンテーション
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	観光学の概要と歴史	授業のねらい
学年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	観光学の概要と歴史	授業のねらい
科目名	地域研究A	時間数	68単位時間	4	観光学の概要と歴史	授業のねらい
開講期間	通期	授業形態	対面授業	5	テーマ検討	個人・グループ
使用テキスト名	なし			6	テーマ検討	個人・グループ
補助教材	PDF教材(プレゼンテーションスキルを学ぶ教材活用)			7	テーマ発表	発表
				8	観光と地域経済の関係	講義
科目概要と科目到達目標				9	観光と地域経済の関係	講義
				10	研究	グループ
				11	研究	グループ
				12	研究	グループ
				13	研究	グループ
				14	研究	グループ
授業の進め方・学習方法・課題				15	研究	グループ
				16	研究	グループ
				17	研究	グループ
				18	研究	グループ
				19	研究	グループ
				20	研究	グループ
評価方法・成績評価基準				21	研究	グループ
①定期試験0% ②授業への積極的参加50% ③提出物20% ④成果発表 30%				22	研究	グループ
【成績評価基準】				23	研究	グループ
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	研究	グループ
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	研究	グループ
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				26	研究	グループ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	研究	グループ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	研究	グループ
				29	研究	グループ
				30	研究	グループ
				31	研究	グループ
実務経験教員の経歴				32	成果発表	外部講評
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間。企画営業経験でプレゼン経験。				33	振り返り	
				34	総括	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	海外旅行実務 基礎知識	海外実務の知識の習得
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	時差 基本知識(GMT基礎)	海外実務の知識の習得
学 年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	時差 時差計算方法(GMT換算)	海外実務の知識の習得
科 目 名	海外実務	時間数	17単位時間	4	時差 時差計算方法(2地点間の時差)	海外実務の知識の習得
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	時差 時差計算方法(相手の現地時間)	海外実務の知識の習得
使用テキスト名	JTB総研 観光概論			6	時差 時差計算方法(所要時間)	海外実務の知識の習得
補助教材	パワーポイント スライド			7	航空会社名と世界の空港	海外実務の知識の習得
				8	時差・航空会社・空港 単元確認試験	海外実務の知識の習得
科目概要と科目到達目標				9	航空時刻表(OAG基礎)	海外実務の知識の習得
社会に出た実務に精通する人材育成を目指して観光関連の事例をもとに概論を学ぶ。				10	航空時刻表(時刻表読解)	海外実務の知識の習得
				11	航空時刻表(乗継時刻表読解)	海外実務の知識の習得
				12	OAG 空港時刻表 単元確認試験	海外実務の知識の習得
				13	査証・シェンゲン規定	海外実務の知識の習得
				14	外国の鉄道(ヨーロッパ・アジア・アメリカ・AUS)	海外実務の知識の習得
授業の進め方・学習方法・課題				15	海外ホテル用語・食事	海外実務の知識の習得
テキストを活用し、授業用プリントを作成、使用し進める。 定期的にテストを実施。				16	海外旅行保険	海外実務の知識の習得
				17	旅行実務 科目確認試験	海外実務の知識の習得
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、航空券予約・発券、出入国書類作成、旅行傷害保険作成他、旅行に係わる実務経験10年間				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション①	年間計画等について
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	振り返り	履修範囲の確認
学 年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	ライフサイクル	価格マネジメントについて理解する
科 目 名	観光経済学	時間数	34単位時間	4	航空郵送から見た価格設定①	価格マネジメントについて理解する
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	5	航空郵送から見た価格設定②	価格マネジメントについて理解する
使用テキスト名				6	企業戦略①	価格マネジメントについて理解する
補助教材	パワーポイントスライド			7	企業戦略②	価格マネジメントについて理解する
科目概要と科目到達目標 観光経済学では、観光産業や観光活動が経済に及ぼす影響や経済的側面を学習します。観光に関連する収入、雇用、経済発展、資源の利用などを分析し、観光政策や観光産業の発展を支援するための知見を学びます。				8	ビジネスモデルイノベーション①	企業事例研究
				9	ビジネスモデルイノベーション②	企業事例研究
				10	ビジネスモデルイノベーション③	企業事例研究
				11	ビジネスモデルイノベーション④	企業事例研究
				12	ビジネスモデルイノベーション⑤	企業事例研究
				13	ビジネスモデルイノベーション⑥	企業事例研究
				14	ビジネスモデルイノベーション⑦	企業事例研究
				15	ビジネスモデルイノベーション⑧	企業事例研究
授業の進め方・学習方法・課題 授業ごとの各種資料を中心に「観光経済学」の仕組みや考え方を学ぶ。				16	オリエンテーション②	前期振り返りと後期に向けて
評価方法・成績評価基準 ①定期試験30% ②授業への積極的参加20% ③提出物40% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				17	指定範囲について	確認テスト
				18	海外旅行商材	流通チャネルのマネジメントを知る
				19	流通チャネルについて(実習予定)	流通チャネルのマネジメントを知る
				20	流通チャネルについて(実習予定)	流通チャネルのマネジメントを知る
				21	メディア戦略	流通チャネルのマネジメントを知る
実務経験教員の経歴 旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験				22	インバウンドマネジメント(外部講師オンデマンド)	プロモーションマネジメントを理解する
				23	ホスピタリティーマネジメント①	プロモーションマネジメントを理解する
				24	ホスピタリティーマネジメント②	プロモーションマネジメントを理解する
				25	ホスピタリティーマネジメント③	プロモーションマネジメントを理解する
				26	インバウンドマネジメント(外部講師予定)	プロモーションマネジメントを理解する
				27	インバウンドビジネス①	プロモーションマネジメントを理解する
				28	インバウンドビジネス②	プロモーションマネジメントを理解する
				29	インバウンドビジネス③	プロモーションマネジメントを理解する
				30	インバウンドビジネス④	プロモーションマネジメントを理解する
				31	総括①	プレゼンテーション
実務経験教員の経歴 旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験				32	総括②	プレゼンテーション
				33	総括③	プレゼンテーション
				34	年度末テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	はじめに	国際線について 概要 手続き他
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	1年次の復習	予備知識の確認
学年	2年生	担当教員	大野 孝予	3	1年次の復習	予備知識の確認
科目名	INFINI 国際線初級・中級	時間数	34単位時間	4	1年次の復習	予備知識の確認
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	予約システムと基本操作	基本操作への理解
使用テキスト名	INFINI Reservation and Fare Pricing			6	予約システムと基本操作	基本操作への理解
補助教材				7	検索	各種コードの検索
				8	スケジュール照会	週間・特定便のスケジュール照会
科目概要と科目到達目標				9	フライト予約 空席照会からの予約	予約発券業務への操作の理解 実技演習
<p>○科目概要:ANAグループ国際線の予約・発券システムです。ANAグループの飛行機の予約・発券についてお役様がインターネット以外でお申込みをされる際は、旅行会社、予約センター他で受け付けておりその際スタッフがお手伝いさせていただきます。</p> <p>使用する共通の予約発券システムを使用。</p> <p>○科目到達目標:1年間で国際線取得に向け授業を進める。また、実技対応として、考えて対応できるスキルを身に付ける。</p> <p>授業の進め方・学習方法・課題</p> <p>○教科書を主体に、基礎知識を身に付けながら、実際PCを活用し習得する方法である。</p> <p>講師より予め、問題を作成されたものを練習問題とし学生がPCを使って予約・発券に取り組む学習方法。</p> <p>課題に関して、自宅ではできない為授業時間内にて、説明→PC操作→解答→PC操作など繰り返すことで身に付けていく。</p>				10	フライト予約 便名指定による予約	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				11	旅程の取り消し・挿入・移動	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				12	旅客データ入力	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				13	PNRの完了 中断	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				14	PNRの抽出	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				15	事前座席指定	予約発券業務への操作の理解 実技演習
				16	SSR 特別に配慮のあるお客様情報入力	旅客情報入力
				17	小テスト	まとめ
				18	SSRの概要	旅客情報入力
				19	SSR 機内食 小児 幼児情報	特別運賃料金への理解
				20	SSR 旅客データ	運賃計算への理解
				21	PNRの分割・PNRのコピー	航空券の有効期限・払戻への知識
				<p>評価方法・成績評価基準</p> <p>①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%</p> <p>【成績評価基準】</p> <p>A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた</p> <p>B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している</p> <p>C=良(79-70点) 到達目標を達成している</p> <p>D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している</p> <p>E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない</p>		
23	PNRのヒストリー	発券ファイルとは、理解と応用				
24	PNRのヒストリー	発券ファイルとは、理解と応用				
25	キュー処理概要	問い合わせ概要				
26	キュー処理	問い合わせ概要				
27	キュー処理フォローアップ	問い合わせ概要				
28	キューBOXの編集	問い合わせ概要				
29	まとめ	まとめ				
30	まとめ	まとめ				
31	ロールプレイ	総まとめ 実技				
実務経験教員の経歴				32	ロールプレイ	総まとめ 実技
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 22年間				33	検定対策	検定試験 事前学習
				34	検定対策	検定試験 事前学習

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学 年	2年	担当教員	鈴木晴奈	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
科 目 名	English Strategy TOEIC対策 I	時間数	136単位時間	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
				7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
科目到達目標:ListeningとReadingの模試問題を集中的に学習し、トレーニングによって解法を身に付け 9月のTOEIC公開テストで600点、11月のTOEIC公開テストで700点を旨す				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
問題集を使用した実践形式のリーディング問題に慣れることにより得点力の向上を狙う。 繰り返し音声を聞くことにより、音声を記憶する。 ミニテストによる学習進捗状況の確認。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公式テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
貿易会社での翻訳業務経験7年				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
大手英会話教室講師経験あり				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	準2級の重要名詞①	5月受験対策
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	準2級の重要名詞②	5月受験対策
学年	2年	担当教員	皆川・寺田	3	準2級の重要動詞①	5月受験対策
科目名	English Strategy 英検対策 I	時間数	136単位時間	4	準2級の重要動詞②	5月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	準2級の重要形容詞・副詞	5月受験対策
使用テキスト名	2024年度版 英検準2級過去問題集			6	準2級の重要前置詞・接続詞	5月受験対策
補助教材	スタディサプリ TEPPAN単語			7	準2級の重要熟語	5月受験対策
科目概要と科目到達目標 読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				8	準2級の重要会話表現	5月受験対策
				9	自動詞と他動詞	5月受験対策
				10	注意すべき時制	10月受験対策
				11	注意すべき受け身	10月受験対策
				12	助動詞①	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題 レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				13	助動詞②	10月受験対策
				14	評価テスト	評価
				15	仮定法	10月受験対策
				16	動名詞	10月受験対策
				17	分詞構文	10月受験対策
評価方法・成績評価基準 ①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				18	関係詞	10月受験対策
				19	比較	10月受験対策
				20	長文読解	10月受験対策
				21	英作文問題①	10月受験対策
				22	英作文問題②	1月受験対策
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				23	英作文問題③	1月受験対策
				24	リスニング 会話表現①	1月受験対策
				25	リスニング 会話表現②	1月受験対策
				26	リスニング 説明文	1月受験対策
				27	リスニング問題のテクニック①	1月受験対策
				28	リスニング問題のテクニック②	1月受験対策
				29	総合テスト①	1月受験対策
				30	総合テスト②	1月受験対策
				31	総合テスト③	1月受験対策
				実務経験教員の経歴		
33	2次面接対策②	1月受験対策				
34	評価テスト	評価				

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第9課 一共多少钱?	選択疑問文の使い方を覚える
学科名	全学科	必須・選択	選択必修	2	第9課 一共多少钱?	金額の言い方を覚える
学年	2年生	担当教員	富田朋美	3	第9課 一共多少钱?	動詞の重ね型を覚える
科目名	中国語Ⅱ	時間数	68単位時間	4	第10課 大学里有书店	存在を表す「在」と「有」の使い分け
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	第10課 大学里有书店	「的」の用法を覚える
使用テキスト名	新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり			6	第10課 大学里有书店	連動文を覚える
補助教材				7	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				8	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
科目概要と科目到達目標				9	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
科目概要:文法の確認を中心にしながら基礎を学び、挨拶や自己紹介、買い物や旅行等、 中国で通じる中国語の習得を目指す 科目到達目標:中国語検定4級				10	中国語検定準4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				11	第11課 我去过中国	助動詞の使い方を覚える
				12	第11課 我去过中国	経験を表す言葉を覚える
				13	第11課 我去过中国	「(是)～的」の文を覚える
				14	第12課 我家在做作业呢	現在進行形を覚える
授業の進め方・学習方法・課題				15	第12課 我家在做作业呢	時間量を覚える
文法を確認しながら、日常生活で通用する中国語を学ぶ				16	第12課 我家在做作业呢	比較の表現を覚える
				17	第13課 我家离大学不太远	前置詞の種類を覚える
				18	第13課 我家离大学不太远	前置詞の使い分けを覚える
				19	第13課 我家离大学不太远	「怎么」と「怎么样」の使い分けを知る
				20	第14課 我得打工	助動詞の使い方を覚える
評価方法・成績評価基準				21	第14課 我得打工	二重目的語を持つ動詞を覚える
①定期試験・検定合格 40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22	第14課 我得打工	二重目的語を持つ動詞の文を作る
【成績評価基準】				23	第15課 我们快放假了	未来形を覚える
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	第15課 我们快放假了	未来形を入れた文を作る
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	第15課 我们快放假了	程度を表す助詞「得」の文を覚える
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				29	中国語検定4級対策	過去問を解いて、問題形式に慣れる
				30	一問一答①	質問を聞いて、即答できるようになる
				31	一問一答②	質問を聞いて、即答できるようになる
実務経験教員の経歴				32	一問一答③	質問を聞いて、即答できるようになる
				33	期末テスト	
				34	振り返り	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	ハングル能力試験対策1	模擬問題を解く
学科名	全学科	必須・選択	選択必修	2	ハングル能力試験対策2	模擬問題を解く
学年	2年生	担当教員	中林・平山・金相範	3	ハングル能力試験対策3	模擬問題を解く
科目名	韓国語Ⅱ	時間数	68単位時間	4	ハングル能力試験対策4	模擬問題を解く
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	ハングル能力試験対策5	模擬問題を解く
使用テキスト名	実用韓国語文法初級			6	ハングル能力試験対策6	模擬問題を解く
補助教材				7	ハングル能力試験対策7	模擬問題を解く
				8	10. 値段を聞く1	日常会話
科目概要と科目到達目標				9	10. 値段を聞く2	日常会話
科目概要:韓国語の基礎を学び挨拶などのコミュニケーションがとれるようにする				10	11. 食べ物について聞く1	日常会話
科目到達目標:ハングル能力検定試験 4級取得				11	11. 食べ物について聞く2	日常会話
				12	12. 相手を待たせる表現を学ぶ1	日常会話
				13	12. 相手を待たせる表現を学ぶ2	日常会話
				14	13. 歳と数字について学ぶ1	日常会話
授業の進め方・学習方法・課題				15	前期試験	
テキストに沿って問題を進めていき、ワークブックの問題を解く				16	ハングル能力試験対策8	模擬問題を解く
				17	ハングル能力試験対策9	模擬問題を解く
				18	ハングル能力試験対策10	模擬問題を解く
				19	ハングル能力試験対策11	模擬問題を解く
				20	ハングル能力試験対策12	模擬問題を解く
評価方法・成績評価基準				21	ハングル能力試験対策13	模擬問題を解く
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				22	ハングル能力試験対策14	模擬問題を解く
【成績評価基準】				23	ハングル能力試験対策15	模擬問題を解く
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	ハングル能力試験対策16	模擬問題を解く
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	ハングル能力試験対策17	模擬問題を解く
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	ハングル能力試験対策18	模擬問題を解く
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	13. 歳と数字について学ぶ2	日常会話
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	14. 自分がしたいことについて話せる1	日常会話
				29	14. 自分がしたいことについて話せる2	日常会話
				30	補助教材1. 全業種共通フレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				31	補助教材2. 飲食業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
実務経験教員の経歴				32	補助教材3. 販売業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				33	補助教材4. 宿泊・レジャー・美容業のフレーズ	ビジネス会話の基本に触れる
				34	後期試験	

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	就職活動にのぞむにあたって	働く意義を理解する
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	企業説明会①	エコパートナーズ
学 年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	企業説明会②	加賀屋
科 目 名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間	4	企業説明会③	コメリ
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	企業説明会④	グランベルホテル
使用テキスト名	なし			6	企業説明会⑤	県内企業
補助教材	パワーポイントスライド(職業能力開発講座・ビジネス基礎編より抜粋活用)			7	企業説明会⑥	県外企業
				8	企業説明会⑦	県内企業
科目概要と科目到達目標				9	企業説明会⑧	県外企業
就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				10	企業説明会⑨	県内企業
就職後に求められるビジネススキルについて学ぶ。				11	企業訪問について①質問事項の整理	企業訪問で行う質問を明確にし、文章表現を精査する。
さまざまな求人情報や会社説明会を通じて業界・企業研究への理解を深める。				12	企業訪問について②選考への心構え	企業の内定を得るための心構えや、社会人としての心構えを学ぶ。
				13	企業訪問のお礼状について	訪問した企業への礼状野書き方を学ぶ。
				14	就職試験のマナーについて	就職試験における一般的な礼儀作法を学ぶ。
授業の進め方・学習方法・課題				15	控室でのマナーについて	控室で待つときの一般的な礼儀作法を学ぶ。
前半はさまざまな企業説明会を授業に織り込んで実施する。				16	椅子の座り方、お辞儀の仕方 実践練習①	椅子の座り方、お辞儀の仕方等就職試験の際の所作を学ぶ。
必要に応じて職業適性検査を実施し、本人適性・職業適性から求人エントリーを絞り込む一助とする。				17	椅子の座り方、お辞儀の仕方 実践練習②	椅子の座り方、お辞儀の仕方等就職試験の際の所作を学ぶ。
後半は就活が進まない学生に絞り、個人面談を繰り返し実施して年度末までの就職先を選定していく。				18	面接試験対策 講義①	面接試験とその対策について学ぶ。
右記の週に伴う学習内容は順不同とする。				19	面接試験対策 講義②	面接試験とその対策について学ぶ。
				20	個人面接試験練習 実践①	面接官個人との面接の際の受け答えや所作を学び、実践する。
評価方法・成績評価基準				21	個人面接試験練習 実践②	面接官個人との面接の際の受け答えや所作を学び、実践する。
				22	集団面接練習 実践①	集団面接の際の礼儀や所作を学び、実践する。
①定期試験0% ②授業への積極的参加50% ③提出物0% ④学習意欲50%				23	集団面接練習 実践②	集団面接の際の礼儀や所作を学び、実践する。
【成績評価基準】				24	グループディスカッション 実践①	グループディスカッションの際のルールや意見交換について学ぶ。
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	グループディスカッション 実践②	グループディスカッションの際のルールや意見交換について学ぶ。
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	模擬面接試験①	面接対策のまとめとしての模擬面接①
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27	模擬面接試験②	面接対策のまとめとしての模擬面接②
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	ハローワーク求人情報共有会	随時実施(個人面談)
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	ハローワーク求人情報共有会	随時実施(個人面談)
				30	ハローワーク求人情報共有会	随時実施(個人面談)
実務経験教員の経歴				31	就職後のビジネススキル①	職業能力開発講座
				32	就職後のビジネススキル②	職業能力開発講座
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間。人事・求人担当も経験あり。				33	就職後のビジネススキル③	職業能力開発講座
				34	就職後のビジネススキル④	職業能力開発講座

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第1章 世界遺産の基礎知識 第2章 日本の遺産	世界遺産検定対策
学 科 名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	第3章 世界で最初の世界遺産	世界遺産検定対策
学 年	2年	担当教員	若井	3	第4章 文化的景観 第5章 シリアル・ノミネーション/トランスバウンダリー	世界遺産検定対策
科 目 名	世界遺産Ⅱ	時間数	17単位時間	4	第6章 文化の多様性 第7章 歴史地区と旧市街 第8章 都市計画	世界遺産検定対策
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	第9章 キリスト教(カトリック/プロテスタント) 第10章 キリスト教(正教会/東方諸教会)	世界遺産検定対策
使用テキスト名	詳しく学ぶ世界遺産500			6	第11章 イスラム教 第12章 仏教 第13章 世界の宗教 第14章 古代ギリシャとヘレニズム	世界遺産検定対策
補助教材	パワーポイントスライド			7	第15章 ローマ帝国 第16章 先史時代 第17章 古代文明	世界遺産検定対策
科目概要と科目到達目標 世界遺産の基礎知識と世界遺産の内容を理解を深め世界遺産検定2級の取得				8	第18章 アメリカ大陸の文明 第19章 東南アジアと南アジア 第20章 ヨーロッパの建築様式	世界遺産検定対策
				9	第21章 近現代建築 第22章 十字軍と騎士団 第23章 大航海時代とキリスト教の海外布教	世界遺産検定対策
				10	第24章 商業・交易・貿易 第25章 混ざり合う文化(文化交流) 第26章 絶対王政	世界遺産検定対策
				11	第27章 産業遺産 第28章 未来への教訓 第29章 地球の歴史	世界遺産検定対策
				12	第30章 カルスト地形 第31章 水河地形 第32章 湖・湿地帯	世界遺産検定対策
				13	第33章 森林・熱帯雨林 第34章 草原 第35章 火山	世界遺産検定対策
				14	第36章 化石出土地帯 第37章 固有の生態系	世界遺産検定対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	第38章 海洋生態系 第39章 絶滅危惧種	世界遺産検定対策
テキストと専用穴埋めプリントを活用し、練習問題で繰り返し対策を行う。				16	検定前 最終模擬試験	世界遺産検定対策
				17	検定前 最終模擬試験	世界遺産検定対策
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験(遺産検定代用)50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間。				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション①	年間計画等について
学科名	観光デザイン科	必須・選択	必須	2	新潟2KMと都市政策について①	新潟市の取り組みを学ぶ
学年	2年	担当教員	矢後 達夫	3	新潟2KMと都市政策について②	新潟市の取り組みを学ぶ
科目名	街づくり概論	時間数	51単位時間	4	新潟2KMと都市政策について③	新潟市の取り組みを学ぶ
開講期間	前期及び後期	授業形態	対面授業	5	新潟2KMと都市政策について④	新潟市の取り組みを学ぶ
使用テキスト名	なし			6	新潟2KMと都市政策について⑤	新潟市の取り組みを学ぶ
補助教材	パワーポイントスライド・JR関連チラシパンフレット・各種映像			7	新潟市の課題について(個人ワーク)	課題の抽出と解決策を考える
				8	新潟市の課題について(個人ワーク)	課題の抽出と解決策を考える
科目概要と科目到達目標				9	新潟市の課題について(グループワーク)	課題の抽出と解決策を考える
2022年4月からの授業カリキュラムで街づくりに焦点をあてた授業展開。人口減少や高齢化の加速、公共交通機能の衰退は街づくりや観光振興に与える影響が大変大きいゆえ、これからの社会の担い手となる当校の学生にその重要性や課題解決策を考えていく授業を模索する。昨年、当校・当科の授業の一環で、新潟市の社会実験・近距離モビリティ「WHILL」に学生を試乗体験させて2次交通機能の可能性や将来性についても学習した。新潟市の公共交通機能や新潟街づくり「にいがた2KM」など新潟市の課題や推進事業をより広く深く学ぶことは大変有意義であり、産・官・学連携の更なる推進で観光振興や街づくりをデザインしていく授業を次年度から段階的・体系的に実施していく。				10	新潟市の課題について(グループワーク)	課題の抽出と解決策を考える
				11	新潟市の課題について(グループワーク)	課題の抽出と解決策を考える
				12	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
				13	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
				14	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
				15	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
授業の進め方・学習方法・課題				16	新潟の街づくりについて	課題と解決策を考え、街の方向性を考える
・新潟市役所都市政策課との連携授業で前期・後期にかけて「新潟2KMへの取り組み」と「公共事業の役割」について学ぶこととする。街歩き実習を年間計4回実施。				17	前期まとめ	都市政策課特別講義
				18	オリエンテーション②	後期の流れについて
				19	公共交通機能の役割について	バスを中心とした事業者の役割
				20	公共交通機能の役割について	バスを中心とした事業者の役割
評価方法・成績評価基準				21	公共交通機能の役割について	バスを中心とした事業者の役割
①定期試験0% ②授業への積極的参加50% ③提出物30% ④学習意欲20%				22	Maasについて	新潟市の吸引力
				23	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
				24	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
				25	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
				26	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
				27	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
				28	課題と今後の公共交通機能維持・発展	街の形成について分析
				29	サステナブルな街作りのデザイン①	コンパクトシティの成功事例都市研究
				30	サステナブルな街作りのデザイン②	コンパクトシティの成功事例都市研究
				31	サステナブルな街作りのデザイン③	魅力ある街デザインとは
【成績評価基準】				32	サステナブルな街作りのデザイン④	魅力ある街デザインとは
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				33	サステナブルな街作りのデザイン⑤	魅力ある街デザインとは
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				34	まとめ	都市政策課特別講義
C=良(79-79点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						
旅行会社にて、カウンターを含む旅行営業、旅行手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間。新潟市役所職員参加。						

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	全学科	必須・選択	必須	1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学年	2年	担当教員	阿部/北村/古沢/矢後	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
科目名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
使用テキスト名				5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
補助教材				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
評価方法・成績評価基準				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校				週数	学習内容	学習のねらい
				1	イントロダクション 異文化理解のすすめ	なぜ異文化理解が必要なかを学ぶ
学科名	トラベル観光科	必須・選択	必須	2	異文化コミュニケーション① ～文化とは何か～	文化とは何かを学ぶ
学年	2年	担当教員	中林幸恵	3	異文化コミュニケーション② ～自文化への気付き	自分を振り返る
科目名	異文化理解	時間数	17単位時間	4	異文化コミュニケーション③ ～異文化適応～	異文化について適応段階を学ぶ
開講期間	後期	単位数	-	5	異文化コミュニケーション④ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
使用テキスト名	異文化理解入門(研究社)			6	異文化コミュニケーション⑤ ～発想の転換～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
補助教材				7	文化・文明の衝突① ～異文化に対する偏見～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				8	文化・文明の衝突② ～差別と異文化理解～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	文化・文明の衝突③ ～世界の価値観～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
異文化比較と理解を進め多様性社会への対応力を高める				10	文化・文明の対話① ～文化背景の違い～日本編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				11	文化・文明の対話② ～文化背景の違い～他国編	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				12	文化・文明の対話③ ～異文化の受容～	異文化理解に必要な考え方を学ぶ
				13	文化・文明の対話④ ～非言語コミュニケーション～ケーススタディ	非言語の重要性を知り、理解を深める
				14	文化・文明の対話⑤ ～非言語コミュニケーションの種類～	非言語の重要性を知り、理解を深める
				15	文化・文明の対話⑥ ～多文化共生社会への参画～	多文化共生社会についてグループで話し合う
授業の進め方・学習方法・課題				16	文化・文明の対話⑦ ～多文化共生社会への参画～発表	多文化共生社会についてグループで発表する
授業前半は教材に沿って「異文化」とは「コミュニケーションとは」を学ぶ 授業後半は異文化間で生じる問題についてグループワークで話し合い 問題解決を模索する。				17	期末試験	
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
【成績評価基準】				33		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				34		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-79点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						